

株式会社ジェイ・イー・ティ

サステナビリティ経営方針

サステナビリティ経営メッセージ Sustainability management policy

半導体洗浄装置において、環境負荷の低いプロセスにて代替する洗浄装置の開発により、社会に貢献すべく尽力しております。またここ数年の売上増大に対応すべく新工場を建設予定であり、最先端技術の導入による生産性の向上、研究開発の加速を図るとともに、社会的価値への貢献として環境にやさしい地域社会との共生を実現できる工場にしたいと考えております。企業は人なりの考えのもと、2017年以降、毎年5~7名の新卒社員を採用してきており、加えて新たな中堅社員の採用にも積極的に取り組んできました。新たな人材教育システムを含む人事制度を導入し、人材の早期戦力化を目指してまいります。

企業理念

◆ **ミッション**：お客様第一主義に徹し、強い会社・良い社会づくりに邁進し、人を大切に、社会貢献に努めてまいります

◆ **ビジョン**：技術優位の差別化された製品にて、世界市場で然るべき立場を獲得します
◆ **プリンシプル**：未来をつくる6つの約束（クレド）を基本に考え、行動します

INPUT

OUTPUT

OUTCOME

事業活動

持続可能な社会の実現へ

財務資本
自己資本利益率
15.9%
自己資本比率
43.1%

物的資本
本社工場
海外拠点

人的資本
専門人材
新入社員の
継続雇用

知的資本
特許・商標
技術力

関係資本
大手半導体メーカー
への納入実績
海外各国での
サービス体制

マテリアリティ

取組方針

気候変動対策

事業活動における環境負荷の低減と気候変動対策を実践する

環境負荷低減

環境負荷の高い硫酸を使用しない洗浄方法を確立する

労働安全衛生 健康経営

労働安全衛生の法令順守のもと、従業員が安全、健康、快適に働くことができる職場を提供する

人財価値の最大化

価値創造の源泉である人財が多彩な能力を最大限に発揮できるよう、人財育成投資を積極的に行う

Well-being DE&I

多様な人財が働きやすく、働きがいを持って活躍できる職場環境を構築する

先端半導体 国産化への貢献

革新的枚葉式洗浄装置の技術開発を継続し、量産化を推進する

サプライチェーン マネジメント

サプライチェーン全体でのサステナビリティ推進により、価値創造を図る

社会価値・経済価値創出

目標

エネルギーをみんなに
そしてクリーンに
気候変動に
具体的な対策を



・2025年 Scope1・2・3の測定実施
CNのロードマップ策定
・2026年 TCFD賛同
・2027年 SBT認証取得
・2027年 新工場に再生可能エネルギー
および省エネ設備の導入

安全な水とトイレを世界中に
産業と技術革新の基盤をつくろう
つくる責任つかう責任



・2025年 硫酸を使用しない
洗浄方法の確立
・2026年 レジスト剥離の工程で
硫酸を使用しない洗浄装置の
販売

すべての人に健康と福祉を



・労働災害発生件数 0件/年 維持
安全衛生講話 4回/年
・定期健康診断受診後の再検診率 100%
・ストレスチェックに基づく
フィードバックの継続
・2025年 働き方改革の
マネジメント研修実施

質の高い教育を
みんなに



・2025年 人材育成カリキュラム新設
・2025年 e-ラーニング導入
・2026年 資格取得費用補助制度導入

ジェンダー平等を実現しよう
働きがいも経済成長も
人や国の不平等をなくそう



・2025年 人事制度見直し
・2025年 育児休業取得率100%
・2026年 有給休暇取得率60%
・2026年 エンゲージメント調査実施
およびフィードバック
・タウンホールミーティング実施による
理念浸透、従業員の意見聴取 6回/年
・2026年 女性採用比率30%

産業と技術革新の
基盤をつくろう



・2027年 革新的枚葉式洗浄装置量産化
・2033年 売上高比率
バッチ式50%、枚葉式50%

パートナーシップで
目標を達成しよう



・2026年 CSR調達方針、
サプライチェーン
マネジメント方針の策定
・サプライチェーンの労働安全衛生、
環境、倫理などの分野に関する
サステナビリティ評価の実施と
継続的な改善要請の継続

外部環境

マクロ環境

社会： (機会) 急激な技術革新や半導体を使用するデバイスの市場拡大
政治経済： (機会) デカップリングの影響による米国、日本等での新たな投資
技術： (機会) AI半導体及び関連するメモリーパワー半導体の性能向上、市場への普及
自然など： (機会) 環境にやさしい薬液への置き換え

(脅威) 需給バランスの悪化から価格が下落し投資が一時的に縮小するリスク
(脅威) 米中貿易摩擦、地政学リスク等による輸出停止

ミクロ環境

顧客： (機会) 新たな投資計画
サプライヤー： (機会) 韓国、台湾、中国等の現地メーカーの技術力向上
競合先など： (機会) 該当なし

(脅威) 半導体製造装置の自国での調達、大規模投資計画の変更
(脅威) 円安、部材高騰による仕入価格の高騰
(脅威) 新興洗浄機メーカーの技術力向上